

教育課程

子ども教育学部

区 分	授業科目名	授業形態	単位数	開講学年(授業時数)								卒業要件				他許・資格取得要件					相成科目	備 考				
				1年		2年		3年		4年		小・特コース		保・幼コース		【保】	【幼】	【小】	【初】	【<】						
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	履修	最低修得	履修	最低修得											
キャリア教育に関する科目群	青年キャリアI	演習	2	15							◎		◎													
	青年キャリアII	演習	2	15							◎		◎													
	青年キャリアIII	演習	2		15						◎		◎													
	青年キャリアIV	演習	1			8					◎		◎													
	青年地域フィールドワーク	演習	1				8				◎		◎										○			
	育スハート入門	演習	2				15				◎		◎										○		任意の学年で履修可能	
	育スハート基礎	演習	1					8			★		★										○		任意の学年で履修可能	
	育スハート総合	演習	2						15		★		★											○		任意の学年で履修可能
	子ども文化理解演習	演習	2																				△			任意の学年で履修可能
	子ども文化実践演習	演習	2																				△			任意の学年で履修可能
	学習支援演習	併用	2																					○		任意の学年で履修可能
	学習支援実践演習	演習	2																					○		任意の学年で履修可能
	子育て支援実践演習	演習	1							8														○		
	保育・教育の本質・基礎的理解に関する科目群	保育概論	講義	2	15							★		◎									◎	△★		
教育学概論		講義	2	15							◎		◎									◎	◎			
教職論		併用	1			8																△	◎			
学級経営論		講義	1						8														△★			
教育の制度と経営		併用	2				15															△	◎			
子ども家庭福祉		講義	2	15																		◎				
社会福祉		講義	2	15																		◎				
子ども家庭支援論		講義	2				15															◎	△★			
社会的養護I		講義	2	15																		◎				
保育者論		講義	2	15																		◎				
幼児教育課程論		講義	2		15																	◎	◎			
小学校教育課程論	講義	2					15			◆		★										◎				
子どもの理解に関する科目群	教育心理学	講義	2	15							◎		◎									◎	◎			
	子ども家庭支援の心理学	講義	2				15															◎	◎			
	子どもの理解と援助	演習	1			8					※											◎				
	子どもの発達	講義	2		15																	◎				
	子どもの食と栄養	演習	2		15																	◎	△★			
	幼児理解の理論と方法	講義	1				8				★												◎			
	生徒・進路指導論	講義	2			15					◆		×										◎			
	教育相談の理論と方法	講義	1			8							×										◎			
保育・子育てを学ぶ科目群	保育内容総論	演習	1	8							★											◎	◎			
	保育内容(健康)	演習	1	8																		◎	◎			
	保育内容(人間関係)	演習	1		8																	◎	◎			
	保育内容(環境)	演習	1		8																	◎	◎			
	保育内容(音楽)	演習	1	8																		◎	◎			
	保育内容(表現)	演習	1		8																	◎	◎			
	乳児保育I	講義	2		15																	◎	◎			
	乳児保育II	演習	1		8						×											◎				
	子どもの健康と安全	演習	1		8						×											◎				
	障害児保育I	演習	1		8						★											◎	△★			
	障害児保育II	演習	1			8					×		★									◎				
	社会的養護II	演習	1		8						×											◎				
	子育て支援	演習	1			8					×											◎				
	在宅保育	講義	2					15														△				
リトミック	演習	2				15				×											△					

区分	授業科目名	授業形態	単位数	開講学年(授業時数)				卒業要件				他府・資格取得要件					地域科目	備考				
				1年		2年		3年		4年		小・特コース		保・幼コース		【保】			【幼】	【小】	【特】	【<>】
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	履修	最低修得単位数	履修	最低修得単位数							
学 科 開 講 科 目	特別支援教育総論	講義	2	15						◎	◎			◎	◎	◎	◎					
	発達障害児教育総論	講義	2	15						★	★											
	視覚障害児教育総論	講義	1	8												△注			【特】1単位以上修得すること ただし、実習要件に注意すること			
	聴覚障害児教育総論	講義	1	8												△注						
	重複障害児教育総論	講義	2					10								◎						
	知的障害児の心理・生理・病理	講義	2			15										◎						
	肢体不自由児の心理・生理・病理	講義	2				15									◎						
	病慮弱児の心理・生理・病理	講義	2					15								◎						
	知的障害児の教育Ⅰ	講義	2			15										◎						
	肢体不自由児の教育Ⅰ	講義	2			15										◎						
	病慮弱児の教育Ⅰ	講義	2			15										◎						
	知的障害児の教育Ⅱ	講義	2				15									△注						
	肢体不自由児の教育Ⅱ	講義	2				15									△注			【特】4単位以上修得すること ただし、実習要件に注意すること			
	病慮弱児の教育Ⅱ	講義	2				15									△注						
	特別支援学校教育実習 (事前事後指導含む。)	実習	3														◎					
	発達支援理論演習	併用	2															◎				
	発達支援実践演習	演習	2															◎				
	行動・学習支援理論演習	併用	2														★注	◎	【特】特別支援学級想定科目			
	行動・学習支援実践演習	演習	2														★注	◎	【特】特別支援学級想定科目			
	自立活動理論演習	併用	2														★注	◎	【特】特別支援学校想定科目			
	自立活動実践演習	演習	2														★注	◎	【特】特別支援学校想定科目			
	子 ど も 教 育 力 を 培 合 す る 科 目	保育実習指導Ⅰ	演習	2		10					×									【保】保育所実習・施設実習		
		保育実習Ⅰ	実習	4							◎											
		保育実習指導Ⅱ	演習	1		15					×									【保】保育所実習「保育実習Ⅰ」「施設実習指導Ⅰ」 施設実習「保育実習Ⅱ」「施設実習指導Ⅱ」 ※「保育実習Ⅰ」は、「保育実習指導Ⅰ」または「施設実習指導Ⅰ」及び「施設実習指導Ⅱ」のうち1単位を修得すること。		
保育実習Ⅱ		実習	2							×												
保育実習指導Ⅲ		演習	1			15				×												
保育実習Ⅲ		実習	2							×												
教育実習(事前事後指導含む。)		実習	5																			
教育実習Ⅰ(事前事後指導含む。)		実習	3																【保】小・中二歳児保育実習のみ修得となる科目			
教育実習Ⅱ(事前事後指導含む。)		実習	3																【小】小・中二歳児保育実習のみ修得となる科目			
保育・教職実践演習(幼・小)		演習	2						15	×					◎	◎	◎					
教職実践演習(幼・小)		演習	2						15		×				◎	◎	◎					
保育・教職インターンシップ		実習	1												△	★	★					
ゼミナールⅠ		併用	1				8				◎											
ゼミナールⅡ		併用	1				8				◎											
ゼミナールⅢ	併用	2					11			◎												
ゼミナールⅣ	併用	2					18			◎								論文型・実技型のいずれかを選択 ※小・特コースは論文型必須				
合 計 (卒業要件)								124 単位以上														

表3-3 保育士資格に必要な科目及び単位数

【関連法令等（厚生労働省や内閣府のウェブサイト等参照）】
 ・児童福祉法施行規則第6条の2第1項第3号の指定保育士養成施設の修業教科目及び単位数並びに履修方法（平成13年5月23日厚生労働省告示第198号）（平成30年4月27日厚生労働省告示第216号）
 ・就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律（平成21年法律第66号）

自己評価レベル A 十分理解できた B 理解できた C おおむね理解できた D あまり理解できなかった

種別	学 問 領 域				左記に対応して開設する本学の教科目				学生用確認欄			
	系 列	教 科 目	授業形態	最低修得単位数	教 科 目	授業形態	単 位 数 必修 選択	実習要件	修得年度	評価 (点数)	自己評価	
必修科目・告示別表第一による教科目	保育の本質・目的に関する科目	保育原理	講義	2	保育原理	講義	2	○				
		教育原理	講義	2	教育学概論	講義	2	○				
		子ども家庭福祉	講義	2	子ども家庭福祉	講義	2					
		社会福祉	講義	2	社会福祉	講義	2	○				
		子ども家庭支援論	講義	2	子ども家庭支援論	講義	2					
		社会的養護Ⅰ	講義	2	社会的養護Ⅰ	講義	2					
		保育者論	講義	2	保育者論	講義	2	○				
	保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学	講義	2	教育心理学	講義	2	○				
		子ども家庭支援の心理学	講義	2	子ども家庭支援の心理学	講義	2					
		子どもの理解と援助	演習	1	子どもの理解と援助	演習	1					
		子どもの保健	講義	2	子どもの保健	講義	2					
		子どもの食と栄養	演習	2	子どもの食と栄養	演習	2					
	保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	講義	2	幼児教育課程論	講義	2					
		保育内容総論	演習	1	保育内容総論	演習	1	○				
		保育内容演習		演習	5	保育内容（健康）	演習	1	○			
						保育内容（人間関係）	演習	1				
						保育内容（環境）	演習	1				
						保育内容（言葉）	演習	1	○			
						保育内容（表現）	演習	1				
		保育内容の理解と方法		演習	4	子ども文化Ⅰ	演習	1	○			
						弾き歌Ⅰ	演習	1	○			
						図画工作Ⅰ	演習	1	○			
						体育Ⅰ	演習	1				
		乳児保育Ⅰ	講義	2	乳児保育Ⅰ	講義	2					
		乳児保育Ⅱ	演習	1	乳児保育Ⅱ	演習	1					
		子どもの健康と安全	演習	1	子どもの健康と安全	演習	1					
		障害児保育		演習	2	障害児保育Ⅰ	演習	1				
						障害児保育Ⅱ	演習	1				
		社会的養護Ⅱ	演習	1	社会的養護Ⅱ	演習	1					
	子育て支援	演習	1	子育て支援	演習	1						
	保育実習	保育実習Ⅰ	実習	4	保育実習Ⅰ	実習	4					
		保育実習指導Ⅰ	演習	2	保育実習指導Ⅰ	演習	2					
総合演習	保育実践演習	演習	2	保育・教職実践演習（幼・小）	演習	2						
当該種別における本学の最低修得単位数							51					
一	保育の本質・目的に関する科目				教職論	講義	1					
二	保育の対象の理解に関する科目				教育の制度と経営	併用	2					
三	保育の内容・方法に関する科目				特別支援教育総論	講義	2	○				
					子ども文化理論演習	演習	2					
					子ども文化実践演習	演習	2					
					在宅保育	講義	2					
					リトミック	演習	2					
					子ども文化Ⅱ	演習	1					
					音楽基礎Ⅰ	演習	1					
					音楽基礎Ⅱ	演習	1					
					ピアノ演習Ⅰ	個人実技	1	○				
					ピアノ演習Ⅱ	個人実技	1	○				
					ピアノ演習Ⅲ	個人実技	1					
			ピアノ演習Ⅳ	個人実技	1							
			ピアノ演習Ⅴ	個人実技	1							

種別	学 問 領 域		授業形態	最低修得単位数	左記に対応して開設する本学の教科目				学生用確認欄			
	系 列	教 科 目			教 科 目	授業形態	単 位 数 必修 選択	実習 要件	修得 年度	評価 (点数)	自己 評価	
通 振 必 修 科 目・告 示 別 表 第 二 に よ る 教 科 目				6	ピアノ演習Ⅵ	個人実任	1					
					ピアノ演習Ⅶ	個人実任	1					
					ピアノ演習Ⅷ	個人実任	1					
					音楽Ⅰ	演習	1					
					音楽Ⅱ	演習	1					
					弾き歌いⅡ	演習	1					
					弾き歌いⅢ	演習	1					
					弾き歌いⅣ	演習	1					
					図画工作Ⅱ	演習	1					
					体育Ⅱ	演習	1					
					保育内容（健康）の指導法	講義	2					
					保育内容（人間関係）の指導法	講義	2					
					保育内容（環境）の指導法	講義	2					
					保育内容（言葉）の指導法	講義	2					
					保育内容（表現）の指導法	講義	2					
保育・教職インターンシップ	演習	1										
四 保 育 実 習 ※ 1		保育実習Ⅱ 又は保育実習Ⅲ	実習	2	保育実習Ⅱ	実習	2					
					保育実習Ⅲ	実習	2					
					保育実習指導Ⅱ 又は保育実習指導Ⅲ	演習	1	保育実習指導Ⅱ	演習	1		
保育実習指導Ⅲ	演習	1										
当該種別における本学の最低修得単位数							9					
教 養 科 目・告 示 に よ る 教 科 目	教 養 科 目	外国語、体育以外の科目		6	創立者松田藤子の志	講義	1					
					創立者松田藤子の教え	講義	1					
					日本国憲法	講義	2					
					ITリテラシー基礎	演習	2					
		外国語	演習	Basic English A	演習	1						
				英会話	演習	1						
体育 ※ 2	講義	1	健康科学	講義	1							
			実技	1	健康スポーツ	実技	1					
当該種別における本学の最低修得単位数							8					
保育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを履修するために単位を修得していることが必要な科目数								12 科目 以上				

※ 1 保育実習について、「保育実習Ⅱ」「保育実習指導Ⅱ」または「保育実習Ⅲ」「保育実習指導Ⅲ」のいずれかの組み合わせの1つを履修し単位を修得すること

※ 2 体育に関する講義及び実技のそれぞれ1単位修得

実習の種類	期 間	学校園又は施設等名称	備 考
保育実習Ⅰ(施設)	年 月 日 ～ 年 月 日		
保育実習Ⅰ(保育所)	年 月 日 ～ 年 月 日		
保育実習Ⅱ(保育所) 又は保育実習Ⅲ(施設)	年 月 日 ～ 年 月 日		

表3-4 幼稚園教諭一種免許状に必要な科目及び単位数

【関連法令等（文部科学省や内閣府のウェブサイト等参照）】

- ・教育職員免許法
- ・教育職員免許法施行規則
- ・就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部を改正する法律（平成24年法律第66号）

自己評価レベル A 十分理解できた B 理解できた C おおむね理解できた D あまり理解できなかった

教育職員免許法施行規則に定める科目区分			左記に対応して開設する本学の授業科目			学生用確認欄				
教科及び教職に関する科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数 (単位数)	授業科目	単位数		実習 要件	修得 年度	評価 (点数)	自己 評価	
				必修	選択					
領域及び保育内容の指導法に関する科目※1	領域に関する専門的事項	16	保育内容（健康）	1		○				
			保育内容（人間関係）	1		○				
			保育内容（環境）	1		○				
			保育内容（言葉）	1		○				
			保育内容（表現）	1		○				
	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）		保育内容総論	1		○				
			保育内容（健康）の指導法	2		○				
			保育内容（人間関係）の指導法	2		○				
			保育内容（環境）の指導法	2		○				
			保育内容（言葉）の指導法	2		○				
当該科目区分における本学の最低修得単位数			16							
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育学概論	2		○				
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論	1		○				
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育の制度と経営	2		○				
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2		○				
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育総論	2		○				
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		幼児教育課程論	2		○				
当該科目区分における本学の最低修得単位数			11							
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	4	初等教育方法論（情報通信技術の活用を含む。）	2		○				
	幼児理解の理論及び方法		幼児理解の理論と方法	1		○				
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談の理論と方法	1		○				
当該科目区分における本学の最低修得単位数			4							
教育実践に関する科目	教育実習	6	教育実習（事前事後指導含む。）		5					
			教育実習Ⅰ（事前事後指導含む。）		3					
			教育実習Ⅱ（事前事後指導含む。）		3					
	教職実践演習		保育・教職実践演習（幼・小）		2					
教職実践演習（幼・小）			2							
当該科目区分における本学の最低修得単位数			7							
大学が独自に設定する科目※2		14	保育原理		2	○				
			子ども家庭支援論		2					
			子どもの食と栄養		2					
			障害児保育Ⅰ		1					
			子ども文化Ⅰ		1					
			子ども文化Ⅱ		1					
			国語Ⅰ（書写を含む。）		2					
			算数Ⅰ		2					
			生活Ⅰ		2					
			音楽基礎Ⅰ	1						
			音楽基礎Ⅱ		1					
			ピアノ演習Ⅰ	1		○				
			ピアノ演習Ⅱ	1		○				
			ピアノ演習Ⅲ		1					
			ピアノ演習Ⅳ		1					
			ピアノ演習Ⅴ		1					
			ピアノ演習Ⅵ		1					
ピアノ演習Ⅶ		1								
ピアノ演習Ⅷ		1								
音楽Ⅰ	1		○							

自己評価レベル A 十分理解できた B 理解できた C おおむね理解できた D あまり理解できなかった

教育職員免許法施行規則に定める科目区分			左記に対応して開設する本学の授業科目			学生用確認欄			
教科及び教職に関する科目	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授 業 科 目	単 位 数		実習要件	修得年度	評価(点数)	自己評価
				必修	選択				
			音楽Ⅱ		1				
			弾き歌いⅠ	1		○			
			弾き歌いⅡ		1				
			弾き歌いⅢ		1				
			弾き歌いⅣ		1				
			図画工作Ⅰ		1				
			図画工作Ⅱ		1				
			家庭Ⅰ		2				
			体育Ⅰ		1				
			体育Ⅱ		1				
当該科目区分における本学の最低修得単位数				14					
文部科学省令で定める科目 ※3	日本国憲法	2	日本国憲法	2		○			
	体 育	2	健康スポーツ 健康科学	1 1		○ ○			
	外国語コミュニケーション	2	Basic English A 英会話	1 1		○ ○			
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目 又は 情報機器の操作	2	ITリテラシー基礎	2		○			
	当該科目区分における本学の最低修得単位数				8				
教育実習（幼稚園）を履修するために単位修得済または履修中であることが必要な科目数						28 科目 以上			

- ※1 領域及び保育内容の指導法に関する科目（領域に関する専門的事項に係る部分に限る。以下「領域に関する専門的事項に関する科目」という。）の単位の修得方法は、学校教育法施行規則（昭和二十二年文部省令第十一号）第三十八条に規定する幼稚園教育要領で定める健康、人間関係、環境、言葉及び表現の領域に関する専門的事項を含む科目のうち以上の科目について修得するものとする。（教育職員免許法施行規則第二条備考第一号）
- ※2 大学が独自に設定する科目の単位の修得方法は、領域に関する専門的事項に関する科目、保育内容の指導法に関する科目若しくは教諭の教育の基礎的理解に関する科目等又は大学が加えるこれらに準ずる科目について修得するものとする。（教育職員免許法施行規則第二条備考第十四号）
○本学部では、「教育の基礎的理解に関する科目」の最低修得単位数（10単位）を超えている修得単位（1単位）を含めることができる。
- ※3 免許法別表第一備考第四号に規定する文部科学省令で定める科目の単位数は、日本国憲法二単位、体育二単位、外国語コミュニケーション二単位並びに数理、データ活用及び人工知能に関する科目二単位又は情報機器の操作二単位とする。（教育職員免許法施行規則第六十六条の六）

実習の種類	期 間	学校園名称	備 考
教育実習（幼稚園又は小学校）	年 月 日 ～ 年 月 日		

表3-5 小学校教諭一種免許状に必要な科目及び単位数

【関連法令等（文部科学省ウェブサイト等参照）】
 ・教育職員免許法
 ・教育職員免許法施行規則
 ・小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律

自己評価レベル A 十分理解できた B 理解できた C おおむね理解できた D あまり理解できなかった

教育職員免許法施行規則に定める科目区分			左記に対応して開設する本学の授業科目			学生用確認欄		
教科及び教職に関する科目	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数 必修 選択	実習要件	修得年度	評価 (点数)	自己評価
教科及び教科の指導法に関する科目 ※1	教科に関する専門的事項	30	国語Ⅰ（書写を含む。）	2	○			
			国語Ⅱ	1				
			社会Ⅰ	2	○			
			社会Ⅱ	1				
			算数Ⅰ	2	○			
			算数Ⅱ	1				
			理科Ⅰ	2	○			
			理科Ⅱ	1				
			生活Ⅰ	2	○			
			生活Ⅱ	1				
			音楽基礎Ⅰ	1	○			
			音楽基礎Ⅱ	1				
			図画工作Ⅰ	1	○			
			図画工作Ⅱ	1				
			家庭Ⅰ	2	○			
			家庭Ⅱ	1				
			体育Ⅰ	1	○			
	体育Ⅱ	1						
	小学校英語Ⅰ	2	○					
	小学校英語Ⅱ	1						
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	国語科指導法（書写を含む。）	2	○				
		社会科指導法	2	○				
		算数科指導法	2	○				
		理科指導法	2	○				
		生活科指導法	2	○				
		音楽科指導法	2	○				
		図画工作科指導法	2	○				
家庭科指導法		2	○					
体育科指導法		2	○					
小学校英語指導法		2	○					
当該科目区分における本学の最低修得単位数			37					
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育学概論	2	○			
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)		教職論	1	○			
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		学級経営論	1				
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育の制度と経営	2	○			
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		教育心理学	2	○			
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)		特別支援教育総論	2	○			
当該科目区分における本学の最低修得単位数			11					
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	道徳の理論および指導法	2	○			
	総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法	2	○			
	特別活動の指導法		特別活動の指導法	1	○			
	教育の方法及び技術		初等教育方法論 (情報通信技術の活用を含む。)	2	○			
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		生徒・進路指導論	2	○			
	生徒指導の理論及び方法							
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		教育相談の理論と方法	1	○			
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	当該科目区分における本学の最低修得単位数			10				

自己評価レベル A 十分理解できた B 理解できた C おおむね理解できた D あまり理解できなかった

教育職員免許法施行規則に定める科目区分			左記に対応して開設する本学の授業科目			学生用確認欄		
教科及び教職に関する科目	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授 業 科 目	単 位 数 必修 選択	実習 要件	修得 年度	評価 (点数)	自己 評価
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習（事前事後指導含む。）	5				
			教育実習Ⅰ（事前事後指導含む。）	3				
			教育実習Ⅱ（事前事後指導含む。）	3				
	教職実践演習	2	保育・教職実践演習（幼・小）	2				
教職実践演習（幼・小）			2					
当該科目区分における本学の最低修得単位数				7				
大学が独自に設定する科目 ※2		2	ピアノ演習Ⅰ	1		○		
			ピアノ演習Ⅱ	1		○		
			ピアノ演習Ⅲ	1				
			ピアノ演習Ⅳ	1				
			ピアノ演習Ⅴ	1				
			ピアノ演習Ⅵ	1				
			ピアノ演習Ⅶ	1				
			ピアノ演習Ⅷ	1				
			声楽Ⅰ	1		○		
			声楽Ⅱ	1				
			弾き歌いⅠ	1		○		
			弾き歌いⅡ	1				
			弾き歌いⅢ	1				
			弾き歌いⅣ	1				
当該科目区分における本学の最低修得単位数				4				
文部科学省令で定める科目 ※3	日本国憲法	2	日本国憲法	2		○		
	体 育	2	健康スポーツ	1		○		
			健康科学	1		○		
	外国語コミュニケーション	2	Basic English A	1		○		
			英会話	1		○		
数理、データ活用及び人工知能に関する科目 又は 情報機器の操作	2	ITリテラシー基礎	2		○			
当該科目区分における本学の最低修得単位数				8				
教育実習（小学校）を履修するために単位修得済または履修中であることが必要な科目数						10 科目 以上		

- ※1 教科及び教科の指導法に関する科目（教科に関する専門的事項に係る部分に限る。次条第一項及び第五条第一項の表（表の部分に限る。）を除き、以下「教科に関する専門的事項に関する科目」という。）の単位の修得方法は、国語（書写を含む。）、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育及び外国語（英語、ドイツ語、フランス語その他の各外国語に分ける。）の教科に関する専門的事項を含む科目のうち以上の科目について修得するものとする。（教育職員免許法施行規則第三条備考第一号）
- ※2 大学が独自に設定する科目の単位の修得方法は、教科に関する専門的事項に関する科目、各教科の指導法に関する科目若しくは教諭の教育の基礎的理解に関する科目等又は大学が加えるこれらに準ずる科目について修得するものとする。（教育職員免許法施行規則第二条備考第十四号）
○本学部では、「教育の基礎的理解に関する科目」の最低修得単位数（10単位）を超えている修得単位（1単位）を含めることができる。
- ※3 免許法別表第一備考第四号に規定する文部科学省令で定める科目の単位は、日本国憲法二単位、体育二単位、外国語コミュニケーション二単位並びに数理、データ活用及び人工知能に関する科目二単位又は情報機器の操作二単位とする。（教育職員免許法施行規則第六十六條の六）

実習の種類	期 間	学校園又は施設等名称	備 考
介護等体験（社会福祉施設等）	年 月 日 ～ 年 月 日		
介護等体験（特別支援学校）	年 月 日 ～ 年 月 日		
教育実習（小学校又は幼稚園）	年 月 日 ～ 年 月 日		

表3-6 特別支援学校教諭一種免許状に必要な科目及び単位数

【関連法令等（文部科学省ウェブサイト等参照）】
 ・教育職員免許法
 ・教育職員免許法施行規則

自己評価レベル A 十分理解できた B 理解できた C おおむね理解できた D あまり理解できなかった

教育職員免許法施行規則に定める 特別支援教育に関する科目		最低修得 単位数	左記に対応して開設する本学の授業科目			学生用確認欄		
			授 業 科 目	単 位 数 必修 選択	実習 要件	修得 年度	評価 (点数)	自己 評価
特別支援教育の基礎理論に 関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育に係る社会的・制度的又は経営的事項	2	特別支援教育総論	2		○		
特別支援教育領域に 関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、 生理及び病理に関する科目	16	知的障害児の心理・生理・病理	2		○		
			肢体不自由児の心理・生理・病理	2		○		
			病虚弱児の心理・生理・病理	2		○		
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課 程及び指導法に関する科目		知的障害児の教育Ⅰ	2		○		
			肢体不自由児の教育Ⅰ	2		○		
			病虚弱児の教育Ⅰ	2		○		
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、 生理及び病理に関する科目		知的障害児の教育Ⅱ		2	○		
			肢体不自由児の教育Ⅱ		2	○		
病虚弱児の教育Ⅱ			2	○				
免許状に定められることとな る特別支援教育領域以外の領 域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、 生理及び病理に関する科目 心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課 程及び指導法に関する科目	5	発達障害児教育総論	2		○		
			視覚障害児教育総論		1	○		
			聴覚障害児教育総論		1	○		
			重複障害児教育総論	2				
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習		3	特別支援学校教育実習 (事前事後指導含む。)	3				
特別支援教育に関する科目における本学の最低修得単位数				26				
特別支援学校教育実習を履修するために単位修得済または履修中であることが必要な科目数					13 科目 以上			

※ 特別支援学校の教員…(中略)…については、…(中略)…、特別支援学校の教員の免許状のほか、特別支援学校の各部に相当する学校の教員の免許状を有する者でなければならぬ。(教育職員免許法第三条第三項)

実習の種類	期 間	学校園名称	備 考
教育実習(特別支援学校)	年 月 日 ~ 年 月 日		

表3-7 認定ベビーシッター資格に必要な科目及び単位数

【関連制度等（公益社団法人 全国保育サービス協会ウェブサイト等参照）】
・ベビーシッター資格認定制度

自己評価レベル A 十分理解できた B 理解できた C おおむね理解できた D あまり理解できなかった

学 問 領 域				左記に対応して開設する本学の教科目				学生用確認欄		
系 列	教 科 目	授業 形態	単位数	教 科 目	授業 形態	単 位 数		修得 年度	評価 (点数)	自己 評価
						必修	選択			
保育士資格取得のための必要な科目				※表3-3に掲げる通り						
在宅保育に関する科目	在宅保育	講義	2	在宅保育	講義	2				